

【2月中旬、午後8時頃に見える星空】
 新年元日に発生した能登半島地震、甚大な被害に心が痛む。停電の真っ暗闇に、明るくも悲しみに沈む星たちが、被災地の復興を優しく見守ってくれることじやろう。そんな冬の星たちに会いに行こう！

ハイイ！ホミリー、星を見てるとホッとす。心が通じるみたい。いつも私たちを見守ってくれてるんだね。

星空は人の

心と心をつなぐ...!

冬の星空は、明るい星が多い。幾つくらいあるか数えてみよう！一番明るく見える星は1等星、その1等星が冬空には7つもある。星空全体で1等星は全部で21個、実に3分の1が冬空に輝いておる。その7つの1等星(まっぷの◎印)を結べば、大空に大きなおおきな「冬の大三角」と「冬のダイヤモンド」が浮かび上がる。見つけられるかな？「石言葉」でダイヤモンドは、「永遠の絆」とか「不屈」と言う意味が込められている。一方、星空には、人の心を癒やす力があるようじや。地球上の生命誕生の元を辿れば、遙か遠い宇宙誕生へと行きつとこのこと、それを思えば、心が癒やされるのも自然のことかもしれないのう。

そんな星空のキャンパスに描かれた「冬のダイヤモンド」。この時期、いつも思うことじやが、皆さん、共に見上げる「宇宙一でつかれダイヤモンド」の下で、どんな困難や苦難も乗り越える力と、「永遠の絆」を確かめ合おうではないか。遠く離れたカッブルが同じ時間に見上げれば、まさに2人をつなぐ「永遠の絆」！おお、星空のロマンじやな！

【黄道】

天空の星座のあいだを移動する太陽の見かけ上の通り道

北

M42 オリオン大星雲
 M45 すばる (プレアデス星団)

＝ 聴いたら気になる？ ＝

冬の「ゼツタイ見たい星」!!

そんな星があるの？って、みんな気になる星が冬空に潜んでおる。そんなこと聴くと、チヨツと心が動くんじやないかな？そんな星が二つある。まず幸せを運んでくれるという星座、「いつかくじゅう座」(愛称ユニコーン)じや。

冬の「大三角」の中におるが、4等星以下の暗い星ばかりなので見つけ難い。まっぷの下部の星座絵(楕円の囲み)を参考にしつて見つけてみよう！

次は、長生きができると言われている、「カノープス」という星じや。南の地平線スレスレのところに赤っぽく輝いておる。いつでもどこでも見える訳ではなく、南天低く、20時～22時頃にしか見ることができない。中国では「南極老人星」と呼ばれており、その姿を見るこができれば、元気で長生きできると言われておる。

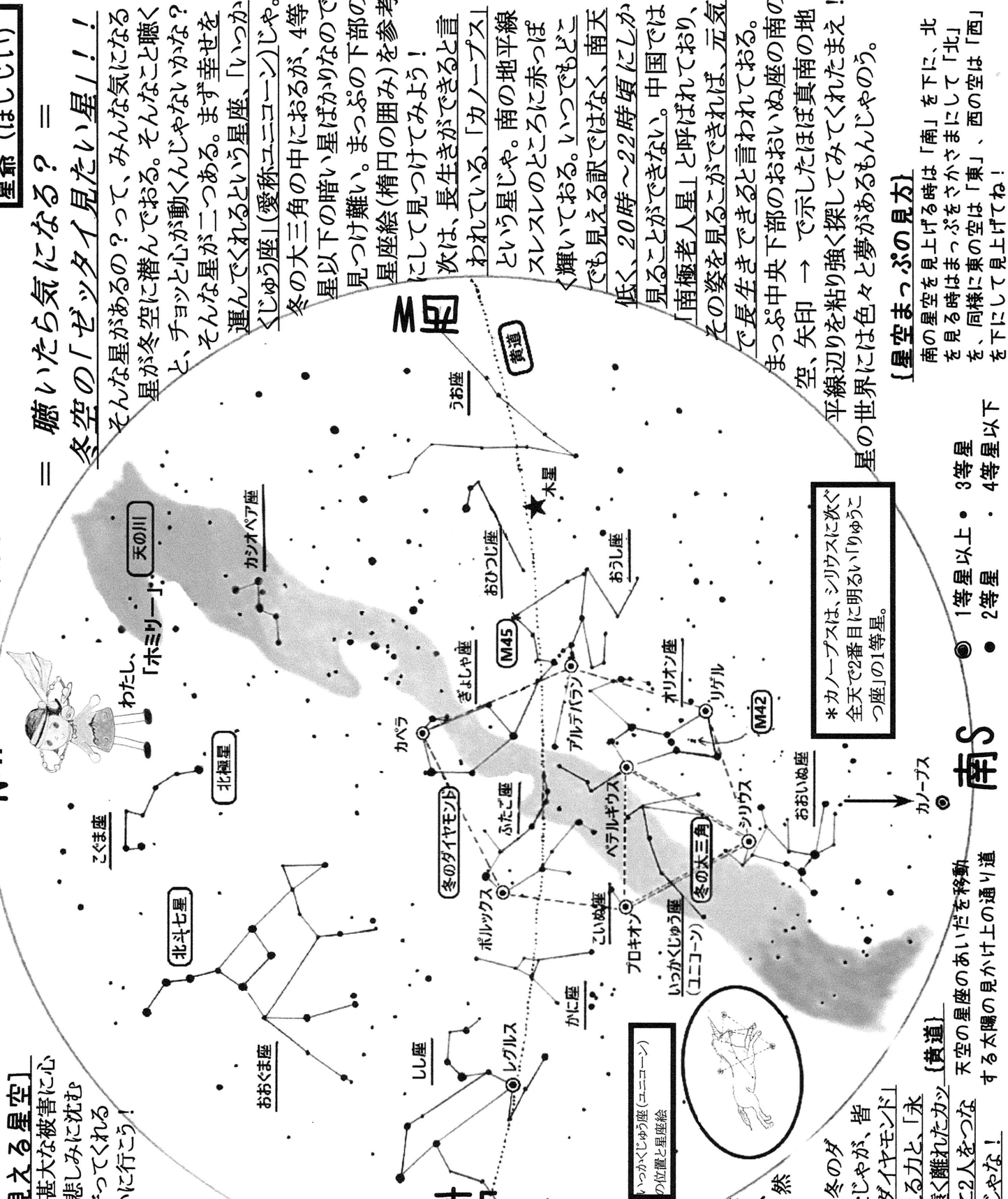
まっぷ中央下部のおおいぬ座の南の空、矢印 → で示したほぼ真南の地平線辺りを粘り強く探してみてくれたまえ！星の世界には色々夢があるもんじやのう。

【星空まっぷの見方】

南の星空を見上げる時は「南」を下に、北を見る時はまっぷをさかさまにして「北」を、同様に東の空は「東」、西の空は「西」を下にして見上げてね！

● 1等星以上 ● 3等星
 ● 2等星 ● 4等星以下

南



*カノープスは、シリウスに次ぐ全天で2番目に明るい「りゅうこつ座」の1等星。

いつかくじゅう座(ユニコーン)の位置と星座絵